

視 察 報 告 書

令和6年4月25日

伊勢市議会議長 藤原 清史 様

自由民主党

幹事長 野崎 隆太

先進地視察・政務活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

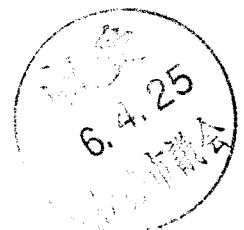
日 時： 令和 6年4月11日（木）、12日（金）

視察事項： 第9回 ものづくり ワールド [名古屋]への参加、見学

<https://www.manufacturing-world.jp/nagoya/ja-jp.html>

視察概要：別紙参照

視察所感：別紙参照



第9回 ものづくり ワールド [名古屋]

愛知県名古屋市 ポートメッセ名古屋

概要

愛知県名古屋市ポートメッセ名古屋にて開催された第9回ものづくりワールド [名古屋]に参加した。

所感

名古屋で開催された展示会への参加はおそらく初めてであったかと思う。普段東京ビックサイトや幕張メッセなどの関東圏で開催される展示会へ出向いているため新鮮な気持ちではあった。

展示内容はモノづくりに関するものや DX 化などを通じたものであったが、東京開催に比べるとやや勢いに劣る実情はあったように思う。しかしながら、伊勢市から見れば近県の会社の展示や新しいソリューションも数多く展示されていた。

東京開催との違いの一つに商圈、営業エリアの違いというものはあるのだろう。仮に伊勢市やその近隣で技術やソリューションを欲しても営業エリアの関係で NG となっては結果に結びつくことはない。その意味では稀に近県の展示会へ出向くことも必要であるという風には感じた。

展示内容は工業系という事もあり 3D プリンターや生産成功率の向上、データ管理などのソリューションも数多く眺めに時間を頂いたこともあり、沢山の出会いや多くの知識を得ることが出来た。展示会で得た知見を今後の政策提案に活かしていきたい。

視 察 報 告 書

令和6年 5月 2日

伊勢市議会議長 藤原 清史 様

自由民主党

幹事長 野崎 隆太

先進地視察・政務活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

日 時： 令和 6年4月24日（水）、25日（木）

視察事項： 24日 東京ビックサイト

SPEXA -Space Business Expo-への参加、見学

<https://www.spexa.jp/tokyo/ja-jp.html>

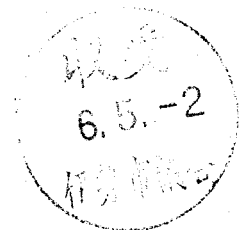
25日 東京ビックサイト

第33回 JAPAN IT WEEK への参加、見学

<https://www.japan-it.jp/hub/ja-jp.html>

視察概要：別紙参照

視察所感：別紙参照



4月24日

SPEXA・Space Business Expoへの参加、見学

概要

東京ビックサイトにて開催された SPEXA・Space Business Expoに参加した。

所感

当初は同会場で開催されている JAPAN IT WEEK のみへの参加予定であったが、伊勢市出身の宇宙開発スタートアップ AXEL SPACE が出展するという事で日程に追加し、同展示会を視察した。

宇宙開発は現時点では伊勢市の産業とは深い縁がある状況ではないかもしれないが、スタートアップ企業として、宇宙開発を牽引している企業の一つとして伊勢市出身者が代表取締役を務めている企業が存在しているという事は大変に誇らしく思う。

我々、市議会として、また伊勢市としても市出身企業の応援をもっと積極的に行う仕組みを考えていくべきであろう。

その他の出展企業としては、能登半島地震で活躍した衛星を使った通信システムスターリンクのチームとゆっくり話すことができたことで、とても知識が深まったことは大きな成果である。

4月25日

第33回 JAPAN IT WEEK への参加、見学

概要

東京ビックサイトにて開催された第33回 JAPAN IT WEEKに参加した。

所感

今回は視察参加に紆余曲折があり、結果的に1日のみの見学となった。結論から言うと、ビックサイトで開催される展示会を真剣に見ようとすると最低2日、展示会の規模次第では3日必要である。とはいうものの政務活動費は限られているため結果的に昨年度は多くの日程が自費参加となったのも事実である。

先に余談から入るが、短時間で展示会を回るとやはり記憶に残るソリューションや技術も少なくなり、もらえる名刺やパンフレットの数も限られてくることから利点が大幅に減少する。今後行くときはやはり最低2日は確保し、恐れず通し3日の参加も表明していこうと思う。

さて、IT WEEK は数度目の参加ではあるが今年のトレンドは圧倒的に AI である。どのブースで話をしてもどんなソリューションでも AI 抜きに語ることは出来ないのが今の民間である。他方で自治体のみならず地方は IT や DX ですらまだまだ状況であることも多く、AI は他人事というのが実際のところでもあります。

このままでは都市部と地方、引いては世界との差は開く一方であろう。IT の導入、推進が伊勢市に必要であると改めて感じた視察であった。

視 察 報 告 書

令和6年 5月24日

伊勢市議会議長 藤原 清史 様

自由民主党

幹事長 野崎 隆太

先進地視察・政務活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。

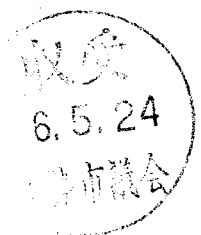
記

日 時： 令和 6年5月10日（金）

視察事項： 国際ツーリズムトレードショーへの参加、見学
<https://www.itt-show.jp/tokyo/ja-jp.html>

視察概要：別紙参照

視察所感：別紙参照



5月10日

国際ツーリズムトレードショウへの参加、見学

概要

東京ビックサイトにて開催された国際ツーリズムトレードショウに参加した。

所感

国際ツーリズムトレードショウは、世界各国の観光業界が一堂に会する大規模なイベントである。観光産業の最新トレンドや革新技術、観光地の魅力を紹介する場として、観光業界の専門家や関係者、各国の観光局、旅行代理店、ホテルチェーン、航空会社、旅行関連テクノロジー企業などが集い開催された。

主な展示内容としては、持続可能な観光、エコ、デジタル、文化遺産などのツーリズムや最新の観光サービスやプロモーション戦略なども紹介されていた。

日本は現在円安によるインバウンド事業により、産業全体としては大きなチャンスの中にある、一方でコロナ後の急回復と円安が重なったことにより人的、物的な課題やインフレによる価格高騰を正しく反映できていないなどの課題もある。

トレードショウでは、それら物的・人的な課題を解決するためのソリューションも数多く展示されていた。同時通訳や従属化を解消するソリューションやロボットなど人的資源の効率化の展示が特に増えていたのもそれらのトレンドを反映してのものだろう。

伊勢市はインバウンドはまだまだ弱い地域の一つである。遷宮に向けてオーバーツーリズム対策を考えながらもチャンスを逃さないような政策提案をしていきたい。

視 察 報 告 書

令和6年 5月30日

伊勢市議会議長 藤原 清史 様

自由民主党

幹事長 野崎 隆太

先進地視察・政務活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

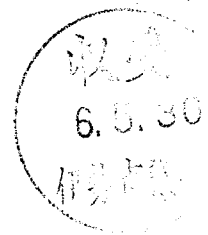
日 時： 令和 6年5月15日（水）、16日（木）

視察事項： SusHi Tech Tokyo 2024 への参加、見学

<https://sushitech-startup.metro.tokyo.lg.jp/>

視察概要：別紙参照

視察所感：別紙参照



5月15日、16日

SusHi Tech Tokyo 2024 への参加、見学

概要

東京ビックサイトにて開催された SusHi Tech Tokyo 2024 に参加した。

所感

「SusHi Tech Tokyo 2024」は、持続可能な新しい価値を生み出すためのイベントとして、世界が直面する課題へ立ち向かうためのテクノロジーやアイデアが集められ開催された。

集められたソリューションは、通常の展示会よりも一つ進んだものも多く、理解がある意味難解な展示も多かった。一方が難解な展示が多いという事は、それだけ私を含む政治家が学ぶべきソリューションや新技術が多いという事であろう。

時代の変容の圧倒的な流れを感じたことで、政治家が町のかじ取りをする中で学ぶべき事項は、何か学ばなくてはならないものは何かという事を問われるような展示会であった。

展示の中では、ボディスキャンからアバターを作るソリューションもあったが、それらのソリューションはわずか10分のうちに3Dアバターが完成するようなものであった。私の知っている速度よりも進化はとても早い。我々が市民や民間の足を引っ張ることがないよう更なる研鑽を行いたい。

視 察 報 告 書

令和6年 6月26日

伊勢市議会議長 藤原 清史 様

自由民主党

幹事長 野崎 隆太

先進地視察・政務活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。

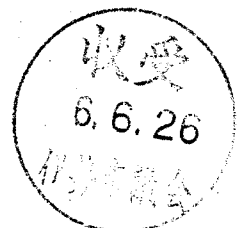
記

日 時： 令和 6年6月12日（水）

視察事項： Interop Tokyo 並びに同会場開催の展示会への参加、見学
<https://www.interop.jp/>

視察概要：別紙参照

視察所感：別紙参照



Interop Tokyo 並びに同会場開催の展示会への参加、見学

概要

幕張メッセにて開催された Interop Tokyo 並びに同会場開催の展示会に参加した。

所感

「Interop Tokyo」は、インターネットテクノロジーの最新動向とビジネス活用のトレンドを紹介するイベントで 1994 年から毎年開催され、国内外から数百の企業・団体が参加している。展示会やセミナーを通じ、技術革新や新しいソリューションを体感できる場であり、今年は AI、IoT、5G、クラウドネイティブなどのテーマが主流であった。

会場では、最新のインターネット技術とその応用例を直接体感することができた。特に、AI や IoT、5G といった技術がどのように実際のビジネスや社会に応用されているかを具体的に知ることが出来、これらの技術は、今後の社会インフラの基盤となることが予想され、重要な役割を果たすと実感した。

AI 技術の進展は、行政サービスの効率化や市民の生活の質向上にある意味では破壊的なインパクトがあると感じている。AI を活用したデータ分析により、政策決定の迅速化や精度向上が可能となるし、IoT 技術を活用することで、スマートシティの実現、交通渋滞緩和やエネルギー効率の向上が図られる。5G 技術の普及により、高速かつ安定した通信環境が整備され、遠隔医療や教育の分野でも革新的なサービスも提供される。

問題はこれらの技術の理解とその応用可能性を深めることが出来るかである。また、技術導入に伴う法整備や規制緩和も必要となるが基礎自治体としてどのように政策実現のための提案が出来るかという環境づくりも必要であろう。今回の視察を通じて得た知見を基に、今後の政策立案に活かしていきたい。

視 察 報 告 書

令和6年 8月15日

伊勢市議会議長 藤原 清史 様

自由民主党

幹事長 野崎 隆太

先進地視察・政務活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

日 時： 令和 6年8月1日（木）

視察事項： GOOGLE CLOUD Next Tokyo' 24 への参加、見学

<https://cloudonair.withgoogle.com/events/next-tokyo-24>

視察概要：別紙参照

視察所感：別紙参照



GOOGLE CLOUD Next Tokyo' 24 への参加、見学

概要

パシフィコ横浜にて開催された GOOGLE CLOUD Next Tokyo' 24 に参加した。

所感

「GOOGLE CLOUD Next Tokyo' 24」は、生成 AI やセキュリティを中心に、クラウド技術の最新動向を紹介するカンファレンスで、基調講演やライブセッション、ハンズオンラボなど、多彩なプログラムが提供されたカンファレンスで、今回の視察では、生成 AI の急速な進化とそのビジネス活用に関する多くのセッションが開催されていました。

特に、AI を活用したデータ分析やセキュリティ強化の具体例は、自治体運営にも応用可能であるというよりは民間の進む速度が速すぎて地方自治体の対応能力の限界すら感じました。

例えば、住民サービスの向上や行政手続きの効率化に AI を導入すれば、より迅速かつ正確な対応が可能となったり、セキュリティ対策の強化により、住民の個人情報保護が一層進むと考えられるが自治体では決裁の速度や独自のセキュリティ基準のために導入が遅れる現実がある。導入した時には世間からは周回遅れこれが今の現実でもある。

これらの技術を迅速かつ積極的に取り入れ、伊勢市のデジタル化を推進することが出来る日が来るのかある意味ではもっと議会による行政の後押しが必要ではないかと感じている。AI を活用した住民サービスの改善や、クラウド技術を用いた行政の効率化、セキュリティ対策の強化により、住民の安心・安全を確保しながら施策の向上を行う必要がある。今回の視察で得た知見を基に、伊勢市の未来を見据えた政策を展開していきたい。

視 察 報 告 書

令和6年9月5日

伊勢市議会議長 藤原 清史 様

自由民主党

幹事長 野崎 隆太

先進地視察・政務活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

日 時： 令和6年8月22日（木）、23日（金）

視察事項： 大学見本市 2024～イノベーション・ジャパンへの参加、見学

<https://innovationjapan.jst.go.jp/>

視察概要：別紙参照

視察所感：別紙参照



大学見本市 2024～イノベーション・ジャパンへの参加、見学

概要

東京ビッグサイトにて開催された大学見本市 2024～イノベーション・ジャパンに参加した。

所感

「大学見本市 2024～イノベーション・ジャパン」は、大学の研究成果や技術革新を企業や社会に普及させるためのイベントで、最新の研究成果が展示され、産学連携の重要性が特に伝えられている国内最大の展示会でもあります。

国内の各大学の持つ技術を見学し、大学の研究成果が地域経済や産業に対してどのように貢献しているかを改めて見直す機会となりました。また、伊勢市には皇学館大学があり、近隣には鳥羽商船もあります。観光を始めとした多くの地域資源や文化的特性もあります。

それらを活かす形での産学連携を後押しすることが、今後、市が取り組むべきスタートアップの大きなきっかけとなると改めて確認できた。

大学と企業の連携、大学と行政の連携を促進するためには、地域内の企業が新技術やイノベーションにアクセスしやすい環境を整えることが必要でもある。そのためには研究成果を地域振興に結びつける事業を積極的に推進することも重要である。また、地元の学生や若手研究者が市内の産業に貢献できる場の提供や産学連携の成果発表をするための展示会出展の後押しなど、大学と連携できることは沢山ある。

伊勢市、伊勢志摩という地域の産学連携を進めた結果として大きな事業が誕生することを切に願うとともにまだできることは多くあると感じた視察であった。

視 察 報 告 書

令和7年1月9日

伊勢市議会議長 浜口 和久 様

自由民主党

幹事長 野崎 隆太

先進地視察・政務活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

日 時： 令和 6年12月26日（木）

視察事項： 第13回 GenAI 勉強会

～ 生成AIによる自治体DXと地方創生を考える

ワーキング・グループのキックオフ・ミーティング～への参加

<https://gais.jp/gais13/>

視察概要：別紙参照

視察所感：別紙参照



第13回 GenAI 勉強会

～ 生成 AI による自治体 DX と地方創生を考えるワーキング・グループのキックオフ・ミーティング～への参加

概要

港区立産業振興センターにて開催された第13回 GenAI 勉強会～ 生成 AI による自治体 DX と地方創生を考えるワーキング・グループのキックオフ・ミーティング～に参加した。

所感

第13回 GenAI 勉強会は「生成 AI による自治体 DX と地方創生」をテーマとして。今後の自治体 DX を進めるため、各業界団体や官公庁に所属する職員などが集まり、生成 AI 活用方法や地方創生に向けた取り組みを考えるためのワーキング・グループを作るためのミーティングとして開催された。

勉強会では、各登壇者がそれぞれの団体の行っている活動や推進に関する課題などを報告し、生成 AI を活用した自治体のデジタル化や地域振興の今後の可能性について多くの議論が交わされました。

地方創生における生成 AI の役割に関する具体的な事例や、地方自治体が直面する課題を有効に解決するためのソリューションなどの事例も紹介され、実際の導入事例を含めて具体的な内容は大変に勉強になった。

今後、伊勢市でも生成 AI を含む DX を活用した行政サービスの改善や地域経済の活性化に積極的に取り組むべきであることは当然として、多くの自治体では導入に関する課題とされていることも実際にはクリアしている事例があることも分かった。参加者、登壇者といくつかのディスカッションを行ったが、AI や DX と地域資源を組み合わせた新たなビジネスモデルの構築や、自治体が持っていないノウハウやソリューションは民間企業に任せることの重要性を改めて感じた。また、地方自治体の議員としては都市部でこのようなカンファレンスが頻繁に行われている事には危機感を感じる必要もある。地方においても連携強化に向けた政策提案を進めていきたいと思います。